

交流センターだより



大歳

No.176
令和5年
11月号

大歳地域交流センター
公式X(Twitter)アカウント

発行 大歳地域交流センター TEL 922-4035 FAX 922-4036 人口 14,110 世帯数 7,001
開館時間 8時30分～17時15分 (行政窓口 TEL 922-2461) (令和5年10月1日現在)

第47回大歳まつりを開催します！



日時：11月5日(日) 10時00分～15時00分 (雨天時は14時00分までの縮小開催)
場所：大歳小学校運動場・体育館

大歳まつりを開催します。ステージ、展示、大抽選会、もちまきなど、盛りだくさんのプログラムに加え、ステーキ、焼き鳥、わた菓子、生ビール、ポップコーン、焼きそばなど模擬店も多数出店予定です。皆様のご来場をお待ちしています！

※詳細は11月1日号配布の「大歳まつりプログラム」をご覧ください。

地区ソフトバレーボール大会を開催します！

バレーボールよりも大きくて軽くやわらかいボールを使います。ご近所さんとの親睦をはかり、運動不足の解消のため、みんなで気持ちの良い汗を流しましょう！

※競技者4名(男女各2名、1チーム4人以上)

日時：11月26日(日) 8時30分～

場所：大歳小学校体育館

主催：大歳体育振興会

主管：大歳ソフトバレーボールクラブ

問い合わせ：大歳体育振興会

(大歳地域交流センター内)

(TEL 922-4035)

※出場申込は11月1日(水)～11月17日

(金)までに各分館長または体育委員までお

願います。

大歳地区社会福祉協議会からのお知らせ

福祉に関するなんでも相談

ふくまる相談室

相談料
無料

山口市地域福祉課が市内10カ所に開設している「ふくまる相談室」が定期的に出張してきます！

ご家族での困りごと、ご近所での困りごと、気になること、不安なこと心配ごとを専門の相談員へご相談ください。

奇数月の
第2木曜日
9時～12時
定期的
に行きます

開催日
11月9日(木)
9:00～12:00
大歳地域交流センター
第1会議室
※予約不要です

ふくまる相談室
(福寿包括支援センター併設)
☎083-934-3333

ちょっと
気になるのよ...



受けてみませんか？シニア交通安全教室

高齢者の交通事故防止のため、交通安全学習館と山口警察署の警察官により、高齢者の方々へ、体験型の交通安全教室を行います。ふるってご参加ください。

- 【日時】令和5年11月17日(金) 午後2時00分から午後3時30分まで
【場所】大歳地域交流センター1階 講座室
【定員】15名程度
【参加費】無料
【申込先】大歳地域交流センター地域担当にお名前、ご連絡先をお伝えください。
TEL 922-4035 FAX 922-4036
【申込期限】令和5年11月9日(木)
【内容】ドライビングシミュレーターを使用した危険予測シミュレーションや、飲酒運転の危険性、反射材の効果等についての解説。歩行者または自転車向けの講習ですが、ドライバーの方にも役に立つ内容です。高齢者のご家族も受講できます。内容の詳細は山口警察署交通課(924-0110)までお問い合わせください。

オーストラリア・シドニーから真夏のクリスマス！ オンラインツアー参加者募集

南半球にあるオーストラリアのクリスマスは夏！
雪のない暖かなクリスマスはどのようにお祝いされているのでしょうか？
一部現地からの配信を含めて御紹介します！

開催日時：令和5年12月10日(日曜日) 午前11時から12時(日本時間)
内容：オーストラリアの概要／オーストラリアのクリスマスのお祝いについて／
クリスマスイルミネーション／マーケットのオンライン中継
ガイド：高山 亜由美(たかやま あゆみ)
山口市出身。オーストラリア・シドニー在住。山口ゆめ回廊地域通訳案内士(スペイン語)として登録。2022年10月シドニーへ移住。
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会において各市区町村のホストタウン事業に通訳・翻訳として参加。

定員：100名(申込先着順)

参加方法：Zoomを使用

参加費：無料

申込期限：令和5年12月4日(月曜日)

申込方法：右下の二次元コードから①氏名②E-mailアドレスを登録してください。

URL <https://logoform.jp/f/owZSw>

登録フォーム



お問い合わせ：山口市役所交流創造部国際交流課

TEL 083-934-2725 E-mail kokusai@city.yamaguchi.lg.jp

詳細については、市国際交流課 Web サイトを御確認ください。

みんなのひろばからのお知らせ

健康づくり・絆・交流の集いを開催します！

絵手紙教室

絵手紙の描き方を習って、オリジナルの年賀状を作りましょう！

日時 11月18日(土)
13時30分～15時30分

会場 大歳地域交流センター 講堂

講師 右田 朱実先生

持参物 描きたい材料(季節の花・野菜・果物・人形等)を持ってきてください。
※その他必要な用具は主催者で準備します。

参加費 100円

その他 来年の干支「辰のクラフト飾りや消しゴム印鑑」も作ります。

連絡先 大窪：080-2904-8193

1. 囲碁大会

日時 11月26日(日) 13時00分～
※集合時間は競技開始の30分前とします。
場所 大歳地域交流センター 講堂
対象 概ね60歳以上の方
締め切り 11月17日(金)

2. 将棋大会

日時 11月26日(日) 13時00分～
※集合時間は競技開始の30分前とします。
場所 大歳地域交流センター 講堂
対象 ①概ね60歳以上の方
②「大歳こども将棋教室」の生徒
締め切り 11月17日(金)

囲碁大会・将棋大会ともに、申込みは氏名、自治会名、年齢、連絡先を大歳まちづくり協議会(☎920-1700)へ連絡してください。また、当日はマスクの着用をお願いします。お茶は各自持参してください。

母推さんの子育て応援講座

太陽クラブからのお知らせ

食育講座

幼い子どもの食事やおやつについて大歳の食推さんにゆっくり楽しくお話を聞いてみませんか！(※10月30日(月)より申込受付開始)

日時 11月8日(水)
10時00分～11時30分
(受付9時30分～)



場所 大歳地域交流センター 和室

対象 乳幼児をもつ保護者 先着10名程度

問い合わせ先：大歳地域交流センター
(922-4035)

11月は忙しいママへのごほうび企画!!

身体も心もリフレッシュ!!

講師をお招きして身体を整えるストレッチ等を教えてもらいましょう(希望者には個別施術あり)。

※日時：11月24日(金) 10時00分～

※内容：身体のメンテナンス講座

※場所：大歳地域交流センター 和室

※参加費：100円 ※託児無料(同室にて)

※持参物：飲み物、動きやすい服装でご参加ください♪

※募集人数：未就園児の親子10組程度

※申込先：水原(090-4897-5649)



【大歳地区 11月 の行事予定】



1日(水) 花づくり講習会

2日(木) 燃やせないごみの日

3日(金) ぶっくん来館日(15:20～16:00)

5日(日) 第47回大歳まつり(10:00～15:00)

6日(月) ペーパーフラワーづくり(9:00～12:00)

8日(水) 母推さんの子育て応援講座(10:00～11:30)

9日(木) ふくまる相談室(9:00～12:00)

13日(月) ペーパーフラワーづくり(9:00～12:00)

14日(火) 金属・小型家電製品ごみの日

15日(水) びん・缶ごみの日



17日(金) パソコン相談(受付 10:00～10:30)

シニア交通安全教室(14:00～15:30)

ぶっくん来館日(15:20～16:00)

18日(土) みんなのひろば(13:30～15:30)

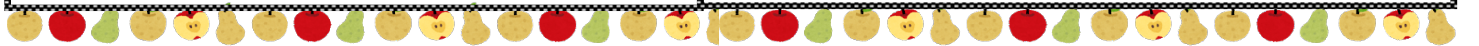
26日(日) 地区ソフトバレーボール大会(8:30～)

囲碁・将棋大会(13:00～)

27日(月) 古紙ペットボトル分別収集(大歳①)

30日(木) 古紙ペットボトル分別収集(大歳②)

※木曜日はプラ容器包装分別収集



県令中野梧一と吉富簡一

吉富簡一は大叔父の林勇蔵(簡一の祖父の末弟の子)と違って、中野梧一宅に入りびたります。実は中野が県令として山口に赴任する直前、井上馨が吉富簡一に手紙を送り中野は「事務も十分に、人物も良く、第1等の県令になると目利きして遣わした。仁政の初政ができるよう工夫を相望み候」と中野を支えてくれと要請していました。さっそく、簡一は中野に会ったのですが、中野の簡一への評価は「小才気ある者」という冷たいものでした。年齢からしても井上馨が天保6年、吉富簡一が天保9年、中野梧一が天保13年生まれですから、簡一は兄貴分として、助言するつもりでしばしば中野宅を訪れるのですが「例の長談」とか「相変わらずの空談」などの言葉が中野の日記には記されるばかりでした。尊敬する福沢諭吉の言葉を縦横に引用して、職員への訓示を行うような開明派の中野にとって、簡一は善意からではあっても、旧弊で押し付けがましいだけの人間に見えたのかもしれませんが。

ところで明治6年、井上馨が大歳大輔の職を辞し、翌年、先収会社という商社を設立しました。井上は騰貴の様相を示すコメ取引で利益を上げようとして地元山口県に目をつけます。山口県だけ地租改正で地租は金納となったはずなのに、1石3円の計算で、米で納めることにしていたからです。江戸時代には年貢米を大消費地・大阪まで運んで藩は利益を得ていたのに、金納で米は集まらなくなっていたわけですから、山口県の地租米を扱えば、大量のコメをまとめて入手でき、先収会社は労せずして利益をあげることができます。こうして吉富簡一が先収会社を代表して、中野と交渉し、集めた米の大半を扱うこととなり、簡一が先収会社の大阪支店頭取として赴任することになったのです。

しかし、この取引はあきらかに談合ですから「きちんと入札して決めるべき」という批判が県庁内からも出ますが、中野は井上をおもんばかって、批判を抑え込んでしまいます。後年、井上や山県有朋などの長州閥のあまりにもひどい談合政治に対する嵐のような批判がまき起こり「長州征伐」の世論が高まります。しかし、日清戦争前の戦争熱を利用して井上らは逃げ切ります。戦争による偽物の「挙国一致」が腐敗を隠した典型例と言えましょう。ところで、先収会社はたった2年で幕を下ろします。井上が再び、政界に復帰したためです。この時、先収会社東京支社頭取であった益田孝は、買収した三井の頭取として残り、三井財閥のトップに上り詰めますが、大阪支社頭取であった吉富簡一は辞めて山口に帰ります。山口県の地租を米で納めるシステムに農民の怒りが爆発寸前だったからです。3円の地租は1石=3円の計算により1石納めていたのに、米価が6円になれば、倍の地租を納めた事になるから怒りは当然です。木戸孝允まで出てきて説得されたので、山口に帰ったと簡一は説明しています。しかし他方では簡一は無能で、取引は部下の藤田伝三郎が仕切っていたため、大阪先収会社は藤田に譲られ、そこに県令を辞めた中野が加わり、中野・藤田コンビで大阪財界に重きをなすようになったとの説もあります。ともあれ、簡一の短い大阪生活が終わったこと。それと入れ替わりに県令を辞めた中野が大阪にでてきて、商人として活動を開始したこと。こうした入れ違いによって、両者の交流は終わりを告げました。

(史談会：文責 武波義明)



左は、先収会社大阪支店頭取の吉富簡一、右は同東京支店の頭取益田孝